

平成 2 9 年度全国学力・学習状況調査の
結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象

中学校第 3 学年・義務教育学校 9 年生の生徒

3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）
 - ・主として「知識」に関する問題（A）
 - ・主として「活用」に関する問題（B）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

4. 調査日時

平成 2 8 年 4 月 1 8 日（火）

II 学力調査の結果【中学校】

1. 教科に関する調査結果(平均正答率※)

1.	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
全 国	77.4	72.2	64.6	48.1
広島県	78	73	64	48
府中市	82	78	69	51
(第一中)	81	75	66	48

※平均正答率とは、「生徒の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

2. 調査問題の趣旨・内容

区分	調査問題の趣旨・内容例
国語A (32問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題</p> <p>(例) ○スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する。 ○それまでががんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す。 ○見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する。 ○「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す(あやしう)。</p>
国語B (9問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題</p> <p>(例) ○比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く。 ○スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。 ○アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く。</p>
数学A (36問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題</p> <p>(例) ○正の数と負の数とその計算、文字式の計算をする。一元一次方程式や連立二元一次方程式を解く。 ○平行移動した図形をかく。2直線に1直線が交わってできる角の位置について、正しい記述を選ぶ。 ○比例のグラフから式を求める。二元一次方程式の解を表すグラフを選ぶ。 ○与えられた資料から相対度数を求める。確立について、正しい記述を選ぶ。</p>
数学B (15問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題</p> <p>(例) ○万華鏡の模様について図形間の関係を図形の移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明する。 ○六角形をn個作るのに必要なストローの本数を、$6 + 5(n - 1)$という式で求めることができる理由を説明する。 ○与えられたデータを基に、貯水量が1500万m^3になるまでの日数を求める方法を説明する。 ○分布の形に着目して2つの度数分布多角形を比較し、運動時間が420分以上の女子の方が体力テストの合計点が高い傾向にあるといえることの理由を説明する。</p>

3. 調査結果にみられる特徴と課題

【国語】

特徴と課題
◇文脈に即して漢字を正しく読むことは、相当数の生徒ができています。 【A9 二 1】 99.2% 【A9 二 2】 95.1% 【A9 二 3】 95.9%
◇目的に応じて資料を効果的に活用して話すことは、相当数の生徒ができています。 【A2 一】 スピーチをよりわかりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する設問 91.0% 【B2 一】 スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する設問 87.7%
◆事象や行為などを表す多様な語句について理解することに課題がある。 【A9 五】 話合いの記録として適切な言葉を考える設問 32.8%
◆伝えたい事実や事柄について、根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味する点に、依然として課題がある。 【B2 三】 スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す設問 64.8%
◆文脈に即して、比喻表現の意味を正しく理解し、自分の感想や意見を書くことに課題がある。 【B1 三】 比喻を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く設問 54.1%

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点

改善策
・辞書を活用する場面を計画的に仕組むとともに、短文づくりなどを意図的に行い、評価することで、日常生活で使える言葉を増やしていく。また、国語科としての指導だけでなく、図書委員会の取り組みとしても、多様な文種に触れる機会をつくることで、文脈に即して言葉を適切に考えられるようにする。
・事実と意見の違いに注目して文章を読むことを繰り返し行うことで、読み解き方の定着を図る。また、相手意識をもたせることで、相手を納得させることができる事実を根拠としているかを確認できるようにする。
・条件作文を書く機会をさらに増やし、相互評価させることで、書き方のポイントを意識させる。

【数学】

特徴と課題
◇分数の乗法の計算ができる。【A1(1)】 88.5%
◇実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している。 【A1(4)】 91.8%
◇簡単な一元一次方程式を解くことができる。【A3(1)】 87.7%
◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。【B3(1)】 94.3%

- ◆扇形の弧の長さを求めることができる。【A4(3)】 36.9%
- ◆関数の意味を理解している。【A9】 33.6%
- ◆範囲の意味を理解している。【A9】 23.8%
- ◆2つの図形の間接関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる。
【B1(2)】 12.3%

◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。【B2(3)】 14.8%

日常的に多用する計算や数的処理は定着しているが、扇形の弧の長さを求めるなど、場面が限られる計算については定着しきれていない。また、事象を数学的に解釈し、数学的に表現する力が身につけていないが、これは数学用語を正確に理解できていないのが原因の一つであると考えられる。

◇…相当数の生徒ができていない点 ◆…課題のある点

改善策

- ・等式変形や文字式の計算など、数と式において基礎的な技能と合わせて、図形分野における公式を扱う力をつけるための演習時間を確保する。また、定期的に小テストを実施することで、家庭学習への主体的な取り組みを促す。
- ・課題解決に取り組む際、まずは事象を言語的に捉えたのち、数式などで数学的に表現する過程を重視することで、数学用語の意味の定着と、数学的表現力を高める。

Ⅲ 学習状況調査の結果

1. 学習状況調査（生徒質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

- (6)自分には、よいところがあると思いますか(対全国平均+16.1%)
- (35)学校に行くのは楽しいと思いますか(対全国平均+11.8%)
- (41)先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか(対全国平均+11.4%)
- (42)今住んでいる地域の行事に参加していますか(対全国平均+18.5%)
- (63)1, 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか
(対全国平均+9.7%)
- (64)1, 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか
(対全国平均+26.5%)
- (65)1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていましたか(対全国平均+14%)
- (66)1, 2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか(対全国平均+9.2%)
- (67)1, 2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか(対全国平均+16.8%)

肯定的な回答の割合が全国平均値よりも低かった項目

- (7) 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか(対全国平均-8.7%)
- (33) 家で、学校の授業の予習をしていますか(対全国平均-7.1%)
- (38) 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や小数意見のよさを生かしたり折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか(対全国平均-11%)
- (45) 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか(対全国平均-9.1%)
- (50) 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか(対全国平均-11%)
- (62) 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか(対全国平均-9.6%)
- (68) 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか
(対全国平均-18%)
- (69) 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか(対全国平均-12%)

2. 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

- ・各教科、道徳、学活、総合的な学習の時間を通して、自分の意見や考えをまずは文章で整理させ、それを班員や学級全体に分かりやすく伝える場面を設定したり、意見の交流がしやすくなるような発問やワークシートの工夫をしたりする。
- ・各教科での宿題の内容を工夫することや、自主ノートの内容指導を通して、生徒が予習の必要性有用性を意識できる指導を行う。
- ・国語科のみならず、自分の感想や意見を原稿用紙2～3枚に書く機会をさらに増やし、書き方のポイントを整理して指導することで、書くことを習慣化していく。
- ・行事や学活、キャリアカウンセリングを通して、地域でのボランティアや国際的な文化活動などの重要性や魅力を理解し、校外における活動意欲を高める指導を行う。